

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.176

(財)日本学校保健会

**特集** 一喫煙防止一

- わが国の喫煙現況……………1  
Q&A 主流煙と副流煙…2  
小、中、高での指導の実際  
……………4～6  
学校保健会だより……………7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 喫煙の防止と健康教育

財団法人 日本学校保健会 副会長 松 尾 学

健康は人間の永遠の願望であり、人間が生涯に亘って日常生活の中で忘れることのできない課題である。したがって子どもの時代から、日常生活の中で自からの健康、そして周りの人達の健康について、正しい知識と理解をもつ、豊かな心の育成を計ることは、保健教育の要めであり、健康教育の目標達成の柱の一つではないかと考える。日本の社会が急速に変化を続けている中で、子ども達の生活体験が、大人社会の側面にかたより、心の未熟さがわからないまま、身体だけが成長してしまうところに大きな問題がひそんでいるのではないだろうか。物の面では十分豊かさを満足できる時代にあっても、お金では買うことのできない生命の尊さ、健康を支える知識、そして生きることのむづかしさが、少しでもわかるように、心と身体への健康教育に重点をおいた、伸び伸びとした明るい子ども達の育成に努力して行かねばならないと思う。

具体的には、まず子どもと大人の違いについて、はっきりした認識を持たせることが第一の課題である。児童・生徒は、家庭と法律制度の保護のもとにあつて、将来は国家を構成する、責任をもつ社会人として成長するための養育段階にいることを、十分指導しておくことが大切である。その前提に立って、善いこと、悪いことの判断、そして禁止事項の理由を、自から理解し、実践する意識を育てることによって、例えば喫煙、飲酒の弊害について指導する場合に、タバコやアルコールがいけないと云うよりも、ニコチンやタール、そしてアルコールが未成熟の体内に吸収された時に、身体の中の血液や血管そして内臓がどのような状態になるか、続けることによって、未発達の細胞がどれだけ、変性・変化を起して、正常な働きができなくなるかを、わかり易く説明し、発育段階の子供には悪いんだという認識を持たせるべきだろう。

学校保健の位置づけは、検診・検査による身体機能、環境機能の異常を早期に発見し、健康と快適な学校環境を保持・増進するとともに、生涯にわたって活力ある生命力を維持するために、子供の時代から、心と身体への健康についても十分な指導の徹底を図らなければ、健康教育の本当の目的が達せられないと思う。

学校保健会では既に多くの指導書を作成し、関係者の資料として活用して頂いている。その内容は各職域からの意見を反映したものであり、時代の要望に答えるものである。

## わが国における喫煙の現状

日本総合愛育研究所所長 平 山 宗 宏  
東京大学名誉教授

タバコの害が科学的に明らかにされ、WHOの指導もあって世界中で禁煙が常識になってきた。日本学校保健会でも若いうちから喫煙の習慣のつくのを防止するため、小・中・高校用の喫煙等の防止の手引を作成、配布している。わが国の男子成人の喫煙率は世界の中でも高く、昭和61年で全国平均63%（女子12%）とされる。これでも46年の77%（女子15%）、55年の70%（女子14%）からみれば低下してきているが、同55年のスウェーデン30%、米国37%などに較べれば倍も高く、わが国の健康意識に問題がありそうである。最近気になるのは、女性の場合、全年齢に比し30歳代(14%)、さらに20歳代(16%)と若い年代ほど喫煙率が高いことで、仕事を持つ女性が増えてきていることと関係があるかも知れない。

児童・生徒・学生の喫煙する者の率は個々の学校での調査成績はいくつか報告されているがバラツキが大きく、当然の事ながら実態はつかめない。俗に学校関係者の間で、7・5・3、つまり、いたずらを含め一度でもタバコを吸ったことのある者の率が高校生7割、中学生5割、小学生3割といわれるが、本来未成年者の喫煙は法律で禁じられているし、非行として補導の対象になっている以上、真偽のほどはわからない。大切なことは喫煙の前歴をほじくるよりも、健康教育によって喫煙の害を理解し、将来にわたって喫煙の習慣をつけぬ決意を持たせることである。

そうした意味で筆者が目にしたのは、本年1月静岡県保健婦会から発表された調査報告で、妊娠を機会にどのくらいの夫婦が禁煙しているかを調べたものである。県下1,500組の夫婦についての調査によれば、夫の喫煙率は64.5%で全国平均並み、そして妊娠するまで喫煙していた妻17.5%のうち72%が妊娠を機会に禁煙し、妊婦の喫煙率としては2.8%ま

で減少したという。ゼロにはできなかったとはいえこの数字は妊婦に対する保健指導、健康アドバイスがかなりの効果を上げている証拠で、医師や保健婦さん達の努力に感謝したい。ただし妻の妊娠の機会に禁煙した夫はわずか3.6%ほどで、喫煙習慣のついた男性の禁煙の困難さと、受動喫煙の害についての理解の不十分さを考えさせられる。なお、妊婦の周囲に喫煙者がいる割合は76%に上り、その内訳では夫が最も多く80.5%、ついで職場21.8%、夫以外の家族8.4%(それぞれ重複あり)であったという。地域における妊婦への教育は全国的に行なわれているが、周囲の者への受動喫煙の害に関する情報提供を含めさらに努力したい。これらの問題を考えるについても、児童生徒に対する喫煙防止教育、つまりは健康教育を推進しなければなるまい。妊婦の禁煙は本人自身の正しい健康の理解、受動喫煙の防止は他人の健康をも考えるという、いずれも健康教育の基本にかかわることである。

米国やスウェーデンなどではテレビ、ラジオを通じたタバコのコマーシャルを一切禁じているが、わが国ではなお盛んである。最近とくに気になるのは、未成年にも見えるような若者の喫煙を扱ったテレビのコマーシャルで、たいへん困ったものだと思う。宣伝を禁止できないのならせめて登場人物は老人に限れないものだろうか。もっとも、タバコによる成人病の増加が寿命を縮め、ひいては高齢化社会対策の一つになると言ったら、皮肉が強すぎるかも知れない。

当初児童・生徒・学生の喫煙防止の現状の依頼を頂いたが、前述したようにこれは正確な統計がないので、喫煙防止をめぐる最近感じたことを述べさせて頂いた。

# Q & A - 学校保健活性化のための -

## Q 主流煙と副流煙について

A..... 国立公衆衛生院生理衛生学部長 浅野 牧 茂

たばこを吸っている時に、たばこ自体を通過して喫煙者の口腔内に達する煙は主流煙、点火部分から大気中に立ち昇る煙は副流煙と名付けられています。通常の喫煙、つまり能動的喫煙では愛煙家にとって大切なのは主流煙であり、また健康影響の面からも重要なのは主流煙です。一方、非喫煙者が自分の意志とは無関係に、あるいは意志に反して愛煙家によって排出されるたばこ煙に曝され、吸煙を余儀なくされている状態、すなわち受動的喫煙を経験している時、さらにはこれを長期間にわたって繰り返した場合に様々な生体影響を引き起こす主役は副流煙の方です。

シガレット1本の喫煙によって発生する主流煙については、国際基準に従った人工喫煙装置で捕集された煙の物理煙の物理化学的分析が行われ、表1に示したような結果が得られており、全て副流煙の数値の方が大きいのです。いずれの有害物質発生量も主流煙中より、ほぼ2倍から5倍ほど大きく、特にアンモニアに至っては46倍にも及んでいます。別の研究結果によると73倍という数値が得られています。

表1 シガレット主流煙と副流煙の物理化学的特性の比較 (US Dept. of HEW, 1975)

	化 合 物	主 流 煙 (mg/本)	副 流 煙 (mg/本)	副流煙/主流煙 比	煙 要
A	一般的特性(シガレット1本当たり)	20秒	550秒	27	
	発煙持続時間	347	411	1.2	
	燃焼タバコ量	$1.05 \times 10^{12}$	$3.5 \times 10^{12}$	3.3	
B	顆 子 相				
	タール(クロロホルム抽出物質)	20.8	44.1	2.1	フィルター・シガレット
		10.2	34.5	3.4	
	ニコチン	0.92	1.69	1.8	フィルター・シガレット
		0.46	1.27	2.8	
	ベンゾ(a)ピレン	$3.5 \times 10^{-5}$	$13.5 \times 10^{-5}$	3.7	
	ビレノール	$13 \times 10^{-5}$	$13 \times 10^{-5}$	3.0	
	フェノール類	0.228	0.603	2.6	
	カドミウム	$12.5 \times 10^{-5}$	$45 \times 10^{-5}$	3.6	
	C	ガスおよび蒸気水	7.5	298	39.7
アンモニア		0.16	7.4	46	
二酸化炭素		31.6	148	4.7	
二酸化硫黄		63.5	79.5	1.3	
窒素酸化物		0.014	0.051	3.6	

国際基準に従った主流煙捕集による分析値はタバコ湿度10%

アンモニアそのものも刺激性のガスでもあり、その大量の存在は副流煙をアルカリ性にして眼や鼻の粘膜を強烈に刺激する役目をも担っていると考えられます。主流煙も勿論眼や気道粘膜を刺激しますが、副流煙の方が一段と強い作用を発揮するのです。PH試験紙を用いて調べれば直ぐ分かるように、主流煙はPH6前後であるのに対して副流煙はPH9前後であり、この数値に合わせて調整したニコチン水溶液のエアロソル(液滴)を鼻孔から吸い込んだ際の刺激の強さは、副流煙に相当したアルカリ性のニコチン溶液を用いた場合の方がはるかに大きいことが調べられています。また、愛煙家自身も、くわえた

たばこや置きたばこの方が主流煙より眼や鼻にしみ、喉を強く刺すことを体験的に知っていると思いますが、愛煙家の吐き出す余分の主流煙は呼出煙と呼ばれ、各種有害物質の相当量が体内に取り込まれていますから大気中での濃度は低くなります。それに対して副流煙は濃いままの状態で立ち昇り、直ぐには拡散せずに濃い帯状を為して流れ、眼や鼻を襲うことになるので、アルカリ性の煙であることと相俟って一段と強烈な粘膜作用を発揮するのです。

このような急性作用の面のみならず、能動的喫煙と同様に最近注目を浴びている受動的喫煙と肺癌の密接な関係にも、慢性作用として副流煙が果す役割の大きさが発癌性物質含有量の分析結果から推測されています。

1981年に国立がんセンターから発表された研究報告は、非喫煙者である主婦の肺癌による死亡率は配偶者が愛煙家である場合にはそうでない場合より高く、その喫煙量が1日当たり20本以上であると2.1倍に達することを明らかにしました。同じ年にギリシャからは同様の場合に3.4倍にもなることが報告され、それ以来、追跡調査や患者対照研究が各国で次々に実施され、受動的喫煙と肺癌の関係について賛否両論が発表されてきました。

現在迄のところ、少くとも13篇の患者対照研究報告のうち7篇では受動的喫煙によって非喫煙者の肺癌の危険が高まるとされています。従って、受動的喫煙が肺癌発生の原因となり得ることを否定する訳にはゆかないと思われ、受動的喫煙に際して吸入されるたばこ煙、すなわち剰余煙は前述の呼出煙と副流煙の混じり合ったもので、表1からも分かるように、副流煙に大部分を占められているのです。

更に、多数の発癌性物質についてシガレット1本から発生する主流煙と副流煙中の発癌性物質含有量をみると、表2の通りで、副流煙の方が数倍から100倍以上にも及ぶ発癌性物質を含んでいるのです。従って急性作用としては勿論、慢性作用としても副流煙は受動的喫煙が健康影響を引き起こす際の主役を担っていると言うことができます。

表2 シガレット煙中発癌性物質の主流煙中 含有量(1本当り, 単位ng) 対比 (Stock, 1980)

発 癌 性 物 質	主 流 煙 (MS)	副 流 煙 (SS)	SS対MS比
ベンゾ(a)ピレン	20-40	68-136	3.4
ジメチルニトロソアミン	5.7-43	680-823	19-129
メチルエチルニトロソアミン	0.4-5.9	9.4-30	5-25
ジエチルニトロソアミン	1.3-3.8	8.2-73	2-56
N-ニトロソピロリジン	100-550	500-2,750	5
4-(N-メチル-N-ニトロソアミノ)-1-(3-ピリジル)-1-プタゾン	80-220	800-2,200	10
ニトロソピロリジン	5.1-22	204-387	9-76
キノリン	1,700	18,000	11
メチルキノリン類	700	8,000	11
ヒドラジン	32	96	3
2-ナフチルアミン	1.7	67	39
4-アミノピフェニール	4.6	140	30
オトルイジン	160	3,000	19

# 小学校「喫煙防止に関する保健指導の手引」を活用した指導の実際

神奈川県川崎市立下平間小学校長 井 口 衛

## 1. はじめに

「今、なぜ小学校で喫煙防止教育が必要なのか」

最近、非行の低年齢化と同時に、青少年の喫煙問題がクローズアップされ、喫煙のからだに与える害も次々と明らかにされてきている。他人の吸うたばこの煙でさえ健康によくないことがわかってきた。

これから体も心も強く大きく成長してほしい子ども達に「たばこと健康」について正しい知識を持たせ、「自分の健康を自分で守る」という意識を育てることが必要であると考えた。

本校では昭和59年度から健康教育の一環として、小学校の喫煙防止教育研究をすすめてきた。

## 2. 指導目標

参考資料 本校の児童の実態をもとに、次の4点にしぼって考えた。

- ① 児童が喫煙と健康の関係について理解することにより、現在はもちろん将来も喫煙しないようにする。
- ② 喫煙が人体に及ぼす害について知る。
- ③ 喫煙すると喫煙しない周りの人も害を受けることを知る。
- ④ 喫煙に対して自分の考えをはっきりさせ他の身近な人にも意見が言える。

## 3. 指導の実際

6年生を対象として学級指導の中で年間3時間をこれに当て指導している。内容は次の通りであるが、参考資料を基に、自作ビデオを活用している。(ビデオの内容)

- ① たばこの害を目で捉えられるように、タールやニコチンの実験を試み、収録した。たばこを吸ってパイプにどの位、色がつくか調べる。1本2本……色が濃くなる。6本目になるとパイプが黒くなってしまふ。これは、タールという液体で発ガン性のある物質である。
- ② たばこをほぐして水に入れ植物が水を吸い上げる様子を調べる。水だけのものと比較する。たばこの粉の入った方の植物は早くしおれる。

③ たばこの煙を水にとかし、中にミミズを入れ、水だけのものと比較する。煙の入った水の方のミミズは早く動きを止める。煙には、タールの外にニコチンという毒物も含まれている。

④ たばこを吸うと人体にはどのような影響があるか調べる。手の表面の温度が、たばこを吸い始めて3分後…5分後に下っていく。かなり体温の下がることわかる。

⑤ 主流煙と副流煙の比較、グラフやデーターを見て、その害を理解する。家庭内での健康生活について話し合う。

⑥ たばこを吸ってはいけない場所と喫煙室について理解し、たばこを吸う人は悪い人であるという受けとめ方のないよう指導する。

⑦ 将来に向けて自分はどうか考えさせ、自分の健康は自分で守るという心を育てる。

## 4. 児童の反応 (6年女子の感想文抜粋)

私の家では、お父さんがたばこを吸うとお母さんが私に「隣の部屋へ行きなさい」という。なぜ隣りに移らなければいけないのか分かりませんでした。

私は3年生の頃からぜんそくになり、年に2回ぐらい病院に通っていたのです。だからお父さんがたばこを吸い始めると、隣の部屋へ移らなければならぬことが、今日の勉強で分かりました。

## 5. おわりに

以上本校における喫煙防止に関する指導の概略を紹介してきたが、まだ研究の方向は明らかになっていない。しかしこの実践を積み重ねる中で、学級指導のみならず、各教科との関連にも目を向け、多角的な面から指導することにより、子ども自らが、「健康な心とからだづくりを目指す」という問題解決意識の育成を計っている。

参考にした図書等：

○たばこの教科書……少年写真新聞社

○喫煙と健康に関する調査研究……

喫煙と健康に関する調査研究班

○文部省の手びき

# 中学校「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する保健指導の手引」を活用した指導の実際

東京都府中市立第2中学校 教務主任 相馬尚教

## 1. 学年合同学活での指導

中学校に於ける生活指導の中でも大きな比重をしめる事項の一つに喫煙防止に関する指導が上げられる。実際の指導は、生徒との接触が最も多い学級担任が学級指導の中で行うことが望ましいが、タバコの害についての説明を科学的に分かりやすく行う事や、生徒の注意を引き、関心と呼ぶ資料を作成し適切に指導する事はなかなか難しい。

本校では学年単位で指導時間を設定し、学年合同の指導を実施してみた。

## 2. 指導展開の方法と工夫

### 1) 指導時間の設定

本校では学活の時間を毎週木曜日の5校時にとっているが、火曜日・木曜日の6校時目にゆとりの時間も置いてある。木曜日の5・6校時を連続して使うと1時間半の時間がとれる。この時間を学年合同指導に当てた。

### 2) 指導場所

本校は体育館を使用しないでも特別教室を利用して学年全体の集会が出来る生徒数であるので、暗幕設置が可能な音楽室(生徒約240名収容可)を使い、スライドを投影しながら説明をした。指導の徹底を計る為にワイヤレスマイクも使用。

### 3) 指導内容と指導資料

指導資料は手引の資料をスライドにしたものを使用した。導入として喫煙防止に関係した新聞記事を読んで聞かせた。(1987年11月27日付朝日新聞夕刊、「たばこの煙で血管が消えた」)

## 3. 学習後の生徒の感想

- ㊦ タバコは体にすごく害があることを知った僕はこれからもスポーツを続けていきたいと思うので絶対タバコは吸わないと思う。
- ㊧ 私は以前からタバコは体に悪い事は知っていたが、先生にスライドを見せてもらってびっくりした。あんなに体に害があるとは知らなかったからです。吸っている人のそばにいる人まで被害を受けるという事をはじめて知りました。それ以後タバコを吸っている人のそばには近寄りません。自分は勿論大人になってもタバコを吸いません。
- ㊨ 最近ではタバコを吸う人が減ってきていると聞いて

ているが、まだ吸う人は多いと思う。私はタバコの発売を止めてしまえばいいのにと感じてしまいます。タバコは自分だけでなく近くにいる人まで害を与えるんだから、しょうがない物です。

- ㊩ 学校でタバコの話聞いて家に帰って両親に話したら「やっぱり止めなきゃね」と言っていました。以前、何かのひょうしに煙を思いきり吸ってしまい鼻がツーンとして痛くなり涙が出てきました。こんなことも身にしみて、やっぱりタバコは吸いたくないと思います。
- ㊪ 私には分からない。タバコを吸って何の得があるのか、何がおもしろいのが、ただ肺ガンになって死ぬだけだと思った。
- ㊫ 家では父がタバコを吸う。あまり吸ってほしくないんだけど、最初からタバコなんてなければ良かったと思う。タバコなんか吸ったって何の役にも立たない。反対に人の体を悪くする。お金を払ってタバコを買い、肺ガンになって死んだら、ただのバカだと思う。絶対吸わない方がいいと思う。
- ㊬ 真黒な肺を見てやっぱりタバコは良くないと思った。
- ㊭ 僕はあのスライドを見て恐しくなった。なぜ人間はあんな物を吸うようになったのだろうか。僕だったら、タバコを吸わずに健康な体にする。
- ㊮ タバコを吸うと肺の中が真黒になることを知った。女性が吸うと子どもに害がいく。私は変な子を生またくないから絶対に吸わないし、吸っている人のそばにも行かない。
- ㊯ 僕はタバコのスライドを見る前に1~2回タバコを吸ったことがあった。でもあのスライドを見て体への悪影響を知った。真黒な肺はすごいものだった。タバコは吸う人より周りの人の方が被害が多いし、くせになることも知った。ニコチンの害などについてもくわしく教えてくれたのでとてもよく分かった。もう、大人になっても絶対にタバコは吸いたくないと思っている。
- ㊰ 僕はタバコは吸わないと堅く決心しました。そして、吸っている人に僕らが見たスライドの内容を教えてあげたい。タバコは害だ!!

# 高校での喫煙防止対策

東京都立文京高校教諭 福本正道

## 1. はじめに

本校は、都心にある男女共学27学級の普通高校である。素直でおとなしい生徒が多いのが特徴であり、3年生の中で就職希望者は20名前後で、他の生徒は進学を希望する、いわゆる進学校である。しかし、その割にはのんびりした生徒が多く、無理せず、努力もほどほどで進学できればよいという意識の生徒が増えているように思う。

## 2. 本校の喫煙実態

校内のタバコの吸い殻を調べたところ、目の届かないトイレを主に、1日平均6本前後見つかった。この本数は昨年とほぼ同数である。この状況から、生徒による校外での喫煙は相当数あると思われ、その実態を明確にするため、男女各300名にアンケート調査を行なった。その結果、

- ① 喫煙の経験率については、実験喫煙者27%、時どき喫煙者7%、常習喫煙者8%で、経験率は42%となる。男子においては、学年の進行と共に喫煙者率は増加している。女子においては、20%の生徒が喫煙経験をもっていた。
- ② 吸い始めのきっかけは、多い順に友人の誘い、好奇心、家族不在等で70%をこえていた。中には中学校時タバコの事について教わったので興味をもち吸った。テレビのCMを見て吸ってみたいとなった。これらが動機のようなものである。自動販売機の普及により、いつでも安易にタバコを入手でき、テレビ等で好奇心が高まっている上に、大人や友達が身近な所で吸っているという環境が、未成年者に喫煙に対する抵抗感、罪悪感を薄れさせ、ほんのささいなきっかけで喫煙に走らせている。
- ③ 吸う場所は、自分の部屋が最も多く、通学中、喫茶店の順であった。中には、親が子供に灰皿を用意している家庭もあり、家庭との連携の大切さを感じた。
- ④ タバコを吸う理由は、気分転換と答えた生徒が過半数いた。このような生徒の実態から喫煙生徒に対して次のような指導を行なう。

## 3. 喫煙生徒の指導内容

1回目は家庭謹慎3日、2回目は家庭謹慎6日、3回目は今までに該当例なし。提出物として、反省文、日誌、学習課題(喫煙が人間に及ぼす影響、謹慎曜日の時間割の勉強)。本年度より、家庭謹慎後保健指導(養護教諭等の関係教諭)を加える。

## 4. 喫煙生徒の指導の実際

62年11月8日3時限目の休憩時間、校舎のトイレ内で喫煙している所を本校教諭に発見される。喫煙生徒は2年生2名。指導内容として、①当日父兄同伴で校長説諭(反社会的行動面からの説諭であった。)反省文(自分の行動についての反省、未成年の喫煙に対する道徳面からの反省文であった。)を提出させる。②翌日より3日間家庭謹慎、学習課題として、「タバコはこんなに害になる」(平山雄著)を図書室より貸出し、感想文を提出させる。③謹慎後3日間の放課後、会議室にて個人保健指導をする。内容は、喫煙防止に関する保健指導の手引(日本学校保健会)の指導の展開例を参考に、喫煙の実態、タバコの有害性、タバコと疾病、受動喫煙の害、心とタバコ、世界の喫煙動向について生徒と話し合いをする。最後に、「それでもタバコ吸いますか。」のビデオを見せ、今までの指導に対しての感想や意見を書かせる。

## 5. 感想文に見られる生徒の反応

①喫煙が健康に悪いことは知っていたが、これほど有害だとは知らなかった。②喫煙は自分だけの問題だと思っていたが、周囲の人の健康にも影響することがよく解った。③先生の話が良かった。中学の時何度かタバコで注意されたが、いつも叱られていて素直になれず今日まで隠れて吸ってきたが、タバコが自他の健康保持にいかにも影響があるかがよく理解できた。二度と吸うまいと思う。

## 6. まとめ

従来の指導は、喫煙(問題行動)に対する注意や抑制指導に終始しがちである。表面的指導で終わる傾向が強く、効果が少なかった。これに対し個人保健指導は、質的な深化を図ろうとするものである。高校期における喫煙は反社会的行動であるばかりでなく、自他の健康にも有害である。薬物乱用で知られる米国では、10代前半で喫煙し、後半にはシンナーに手を出し、やがて覚醒剤、麻薬へと、あるいは喫煙を経てアルコール依存へと進む。いずれも人類の破滅につながる重大な問題である。現日本では、若年喫煙、女子の喫煙者の増加が憂慮され、薬物乱用防止からも喫煙防止が必要である。従来の非行という道徳面からのアプローチと、身体的、精神的健康との視点に立った保健教育からの両面よりおし進める必要がある。

## 学校保健会だより

## 第13回 学校保健センター的事業報告会

学校保健センター的事業報告会は、昭和51年度に発足し、今年度で13回になる。

この間、国からの補助金の累計は、昭和63年度までで約8億5,000万円、出版した研究報告書等は80種を越え、全国に配布した冊数も約10万冊となっている。

昭和63年度においては、23の委員会を設置し、延238名の委員によって研究が進められた。一方健康増進事業においては、6事業を32の都道府県学校保健会(連合会)に研究を委託した。

これら、1年間の研究の成果を発表し、広く学校保健関係の方々からの意見をうかがい、学校保健の充実を図ることがこの報告会のねらいである。

当日は文部省から、体育局学校健康教育課 石川 晋 課長をはじめ、吉田体育官、藤井課長補佐、石川調査官、出井、佐藤専門員、小松係長、南係員が、いろいろとご多用な中をご出席下さり、ご指導いただいたことを心から感謝したい。

なお、一般の参加も全国から350名を越える参加者があり、年々盛会となっていくことは、社会の学校保健に対する関心の高まりを示めしているものと考えられる。

## 第13回 学校保健センター的事業報告会概要

- 日 時 平成元年 3月3日(金)  
午前 10:00~午後 4:00
- 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 日 程

## (1) 開 会 午前 10:00

あいさつ

(助)日本学校保健会会長 村瀬 敏郎  
文部省体育局学校健康教育課  
課長 石川 晋

## (2) 総合報告と質疑

司会 常務理事 榊田 桂

① 昭和63年度学校保健センター的事業の概要  
センター的事業企画運営委員長 小栗 一好

② 各委員会活動の概要

専務理事 和久井健三

③ 本年度終了委員会の報告

・疲労と休養委員会

委員長 小野 三嗣

・心疾患児童指導委員会 及び

若年性成人病対策委員会

委員長 大国 真彦

・児童・生徒の健康生活リズム委員会

委員長 上出 弘之

・むし歯予防啓発推進委員会

委員長 岡田昭五郎

・検尿陽性者の保健指導委員会

委員長 北川 照男

・児童生徒健康手帳委員会

委員長 足達 九

## (3) 分科会 午後 1:00

(本年度終了委員会のうち、下の4委員会が分科会を実施した。)

☆疲労と休養委員会

(小・中学校児童・生徒13,000人を対象とした「疲れ」についての調査結果の集計と分析)

☆心疾患児童指導委員会 及び

若年性成人病対策委員会

(心疾患児管理指導区分 3・E・可区分決定と若年性成人病検診システム)

☆児童・生徒の健康生活リズム委員会

(小・中学校児童・生徒約3,000人に対して実施した、生活リズムについてのアンケートの集計と分析)

☆むし歯予防啓発推進委員会

(児童生徒等むし歯予防啓発推進事業委託県の実践報告を中心とした意見交換)



村上賢三先生

本会顧問 村上賢三先生 には去る昭和63年10月5日、逝去されました。

先生は学界における我が国学校保健の偉大な先覚者であられましたが本会においても永年各種委員・理事・常務理事・顧問を歴任され、絶大なご尽力をたまわりました。享年91歳

本会顧問 重田定正先生 には去る昭和64年1月1日、逝去されました。

先生には文部省・厚生省の課長及び東京大学教授を歴任され、行政・学界に偉大な功績を残されましたが、本会においても理事長・副会長・顧問など財団設立以来、事業の推進その他にご尽力戴きました。享年87歳

両先生のご功績をしのび謹んで哀悼の意を表しお知らせいたします。



重田定正先生

発行 財日本学校保健会 村瀬 敏郎 〒105 東京都港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル 電話(501)3785・0968 振替口座 東京4-9871 頒価1部100円(送料共)

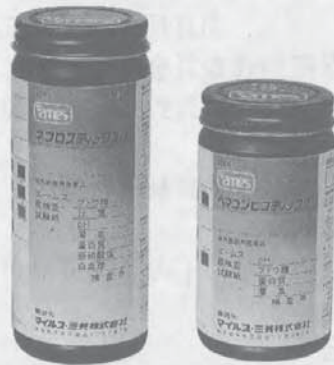
# 育ちざかりのひと粒!

体力をつけ健康を保つ

## カワイ肝油ドロップ



製造発売元 **河合製薬株式会社** 東京都中野区新井2-51-8



### 学童の集団検診にお選びください。

尿中白血球反応をプラスしたエームスの尿検査試験紙

エームス尿検査試験紙腫瘍中pH・ブドウ糖・蛋白質・潜血検査用  
**ヘマコンビスティックス**  
体外診断用医薬品  
 エームス尿検査試験紙腫瘍中pH・糖、比糖、pH、蛋白、潜血、亜硝酸塩、白血球検査用  
**ネフロスティックス-L**  
体外診断用医薬品

マイルヌ・三共株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号 〒104 ☎(03)567-5511

販売元:

**三共株式会社**

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)562-0411

JU14885

## 高等学校 喫煙・飲酒・薬物乱用 防止に関する保健指導の手引

本書は、喫煙等の行為を非行としてとらえて補導の対象とするよりも、比較写真等のビジュアルな資料や具体的な指導事例を豊富に掲載し、自分や他人に及ぼす健康への害を理解させる「健康教育」に主眼をおいた手引書。

(財)日本学校保健会 編 ★A5・148頁 定価1,100円<¥200円>



**第一法規**

〒107 東京都港区南青山2-11-17 ☎(03)404-2251/FAX(03)479-1747

子供の歯を考えた

### ライオンの2段植毛ハブラシ

●低学年用 ●高学年用 ●推薦 日本学校保健会

ライオンのハブラシ製品  
ライオン株式会社

## “ふだんの予防で、元気な毎日”まず手洗い!!

### 殺菌 消毒用 シャボネット石鹸液 2.0L

日本学校保健会推せん No.632

精製ヤシ油を原料にした殺菌、消毒用石鹸液で、手洗いのあといや～な臭いが残りませんので喜んでお使いいただけます。シャボネット容器に入れ、水で7~10倍にうすめてお使いください。

サラヤ株式会社 TEL (06)797-2525

東京サラヤ株式会社 TEL (03)769-3131

〈本会報は、拠出金と、本会への船舶振興会助成金により作成しました〉